



立たない状況でしたが、社内にある金属端材と設備を活用できるなら、やってみようということになりました」と続けます。

そこから鈴木さんが仲間のプロダクトチームと計画する期間限定ショップ「C&NEO LIFESTORE」に向け、金属端材を使ったモノづくりがスタート。延べ4人のデザイナーが手描きのイメージ図を持参し、こんなものは作れないかと相談に来るようになります。「ドアノブ、皿、小鉢、箸、フォーク、ハンガー、一輪挿し、電灯カバーなど、種類はさまざま。すぐに製作できるものばかりでなく、新たな協力先が必要なものもあつて難航しました」と志水さん。

これまでの仕事は、取引先が用意した緻密な図面で部品を生産していく流れがほとんどでした。デザイナーのざっくりとした手描きイメージをもとに製品を作り上げ

期間限定ショップのディスプレイ用に試作した照明も注目を集めました。製品化を望む声を受け、販売できるように改良。本格的にインテリア業界へ挑戦すべく、岡崎市のインテリアショップ「FILT」のデザイナー協力のもと、ブランド化に取り組みました。ブランド名のSHINK.は、会社のロゴにあるSHINKOの文字を

ネットショップを立ち上げ本格的にインテリア業界へ

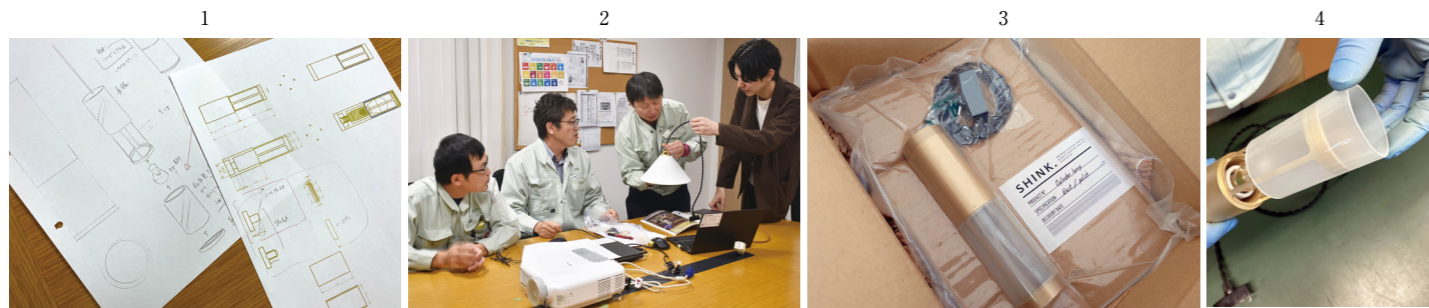
期間限定ショップのディスプレイ用に試作した照明も注目を集めました。製品化を望む声を受け、販売できるように改良。本格的にインテリア業界へ挑戦すべく、岡崎市のインテリアショップ「FILT」のデザイナー協力のもと、ブランド化に取り組みました。ブランド名のSHINK.は、会社のロゴにあるSHINKOの文字を

ていく作業は、とても新鮮だったといいます。「ガラス、铸件、陶磁器、特殊表面処理業者など、つき合いのなかった企業を訪問して試作を依頼するなかで、新しいつながりもできました」。

期間限定ショップのオープンに合わせて、金属端材で大型モニUMENTも製作。「閉館後の商業ビルで設置作業するのは初めてで、良い経験になりました。製作した商品はすべて完売し、モニUMENTも好評でした」と振り返ります。



金属加工を行う工場長の早川昌志さん。SHINK.の製品開発におけるアイデアマン



1,2 デザイナーを交えて月に数回ほど開発会議を行い、金属端材を有効活用するアイデアを出し合います 3,4 真鍮の丸棒を生かしたシリンダーランプ。指紋がつかないよう表面にショットプラスト加工し、マットで上質な質感に。出荷前に空気に触れて変色しないよう真空パックのパッケージを採用しています

information

見学者限定!  
マグネットキューブ プレゼント

SHINK.の見学者で来社した人に、真鍮で作ったマグネットキューブをプレゼント! ※数量限定



地域の店舗にモニターとして  
照明器具を無償で提供!

地元の人にぜひ使ってほしいという思いのもと、みよし市内の店舗を対象にSHINK.の照明器具を無償で提供する取り組みをしています。興味のある人は下記へ問い合わせください。

進興金属工業株式会社  
みよし市助生町辰日山102  
☎0561-36-8883



詳しくは  
Instagram、  
WEBを  
チェック!

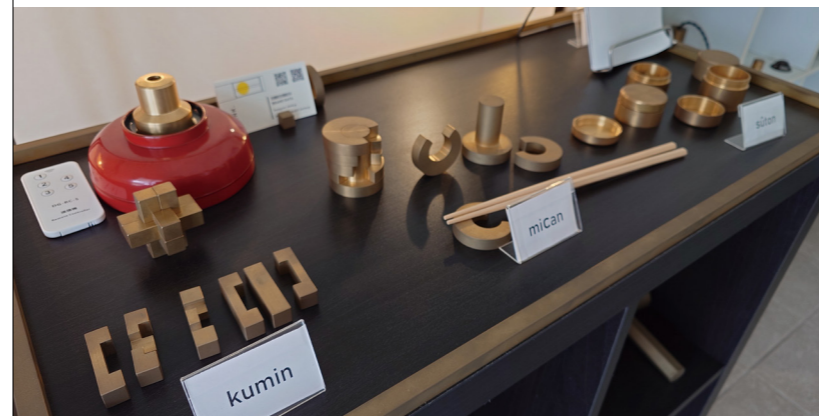
アレンジしたものを。SHINK. (新しい) × THINK (考える) 新たな発想という意味を込めています。

2021年8月にはネットショップをオープンし、新たなスタートラインに立ちました。ウェブサイトに、水道部品の端材をくり抜いた筒形のシリンダーランプ、白磁のシェードつき照明、組み木細工を真鍮で表現した箸置きなど、オリジナルアイテムがラインアップ。「最初はピカピカの金色ですが、年月をかけて色が深まり、青サビなども出てきます。経年変化で味わいが増し、鉄のようにポロポロと腐食しないのが真鍮製の特長。水や熱に強く丈夫なため、昔から水回り部品やガス部品などに使われています。「持続可能な未来を照らすサステナブルデザイン」をキャッチフレーズに掲げるSHINK.では、できる限り愛知や岐阜などの地場産業と手を組むことを大切にしています。LED電球は日進市のモノづくりブランド「オンリーワン」のもの。白磁

のシェードは岐阜県瑞浪市にある窯元の製作です。

最近では、近隣のライフスタイルショップから委託を受けて製品を製造するOEMをはじめ、輪島塗やガラス作家とのコラボレーションなども展開しています。「私たちが長く手掛けてきたのは、水回り部品や産業車両の内燃機関部品など、表面には出ない部分ばかり。インテリア業界に足を踏み込むとは想像していませんでした。今は実店舗に展示されている弊社の照明器具を目にすると、作り手としての力がみなぎってきます」と志水さんは熱く語ってくれました。

SHINK.の商品は照明を中心に10種類ほど。みよし市のふるさと納税返礼品では、アウトドアシーンで役立つ真鍮ハンマーなどを出品しています。進興金属工業の正面玄関にはSHINK.の展示コーナーがあり、9時30分から15時まで見学可能。実際に商品を手にとって見たい人は、気軽に問い合わせください。



【巻頭特集】

みよし市の金属加工会社が立ち上げた  
インテリアブランド「SHINK.」

真鍮の端材を照明やオブジェに!  
新たなプロダクトを作り出す

1937年の創業以来、水回り部品や産業車両の内燃機関部品を製造してきた進興金属工業株式会社。

異業種とコラボレーションしたインテリアブランドを発足しました。

金属端材を活用した新しい取り組みを進めています。

金属端材と設備を有効活用  
製品として命を吹き込む



進興金属工業株式会社  
代表取締役社長  
志水 嘉津彦さん

祖父が創業した事業を継承し、2009年に代表取締役社長就任。2015年にはエコアクション21を取得し、環境経営に取り組む。「こだわらないことにこだわらざるモノづくり」をモットーに、ひとつのやり方に執着せず、常に前向きに挑戦し続けている

金属を加工する際に発生する端材から、デザイナー性の高いインテリア製品を生み出している「SHINK.」。手がけるのは、みよし市の萌生工業団地に本社工場を構える進興金属工業株式会社です。

はじまりは、コロナ禍の2020年8月末。金属くずの回収にやってきました一人の男性からの「一緒に何か作りませんか」という言葉がきっかけでした。「個人でアンティーク家具や照明を販売している鈴木隆洋さんでした。海外へ買いつけに行けなくなり、アルバイトとして金属くずの回収会社に入ったそうなんです。弊社の工場を目にする真鍮の端材や切削加工技術に興味を持ち、工場長に声をかけてくれました」と話すのは、志水嘉津彦代表取締役社長。「コロナ禍で売り上げが落ち込み、見通しの